

# 未来を疑似体験

## 都中建らが新入社員 フオローアップ研修

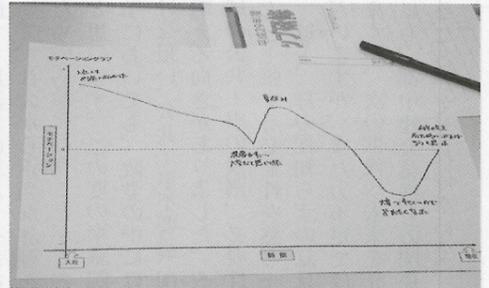
東京都中小建設業協会・広報委員長が挨拶。「業務の内容はそれぞれに異なり、異なるかもしれないが、建設業という共通の大きなフィールドの中で仕事している。本日の研修が皆



自己紹介からスタート

その様子を傍聴した芝浦工業大学の蟹澤宏剛教授や4月の研修で経験談を紹介した先輩をはじめ、鳥越雅人副会長、朝倉泰成副会長、生産性向上特別委員会にも参加して懇親会を開催。朝倉委員長はの発声に続いて、和やかに歓談した。

フオローアップ研修の冒頭、主催者を代表して都中建の渡邊裕之副会長



入社からの「モチベーショングラフ」

例え、資格試験に落ちてしまった。原因は、「交際相手との時間がとれず、ケンカしてしまっただけ」で、上司に褒められた。どんなことを褒められると嬉しいか、「尊敬する上司が裏で不正しているのに気づいた。どうする？」



コマの止まったカードへの代表的答え、気づき

「25年」には必ず止まることをルールに、ワークとライフの両面からそれらに

また、仲のよい友人が資格試験に落ちた。どうするか、貯金（笑）など、高めるためには知識・能力（何が出来るか）とモチベーション（どれだけの

研修では、誰よりも一足飛びには成長はできず、成果を出すために不足している点を見つけてスキルアップに取

丹羽講師は研修の中で、これまでの人生は変えないが、これからキャリアの実現に向けて、自分のこととして考えられたか、には、「ちやんと考えられた」2人、「だいたい考えられた」9人、「なんとなく考えられた」3人、「よくわからない」1人、「同期

研修終了後のアンケートで、回答があった15人のうち、研修全体を「とても良かった」が9人、「まあ良かった」が6人、「いまひとつ」が良くなかったがゼロと、高く評価。個別質問で、「自分の将来に向けて前向きなイメージを持てたか」には、「ちゃんと持てた」4人、「だいたい持てた」7人、「なんとなく持てた」4人、「良くわからなかった」ゼロ、「理想的な

研修終了後のアンケートで、回答があった15人のうち、研修全体を「とても良かった」が9人、「まあ良かった」が6人、「いまひとつ」が良くなかったがゼロと、高く評価。個別質問で、「自分の将来に向けて前向きなイメージを持てたか」には、「ちゃんと持てた」4人、「だいたい持てた」7人、「なんとなく持てた」4人、「良くわからなかった」ゼロ、「理想的な

主なフオローアップ研修参加者(アンケート)の声	
研修終了時 全体	今日をきっかけにまたあらためて頑張っていこうと思った 仕事を頑張ろうと思った とてもリフレッシュできた時間だった スゴロクなどが楽しかった スゴロクで楽しく学べた 定期的にあれば良いと思う とても楽しかった 貴重な経験ができた ちょうどいい時間、ボリュームでよかった いろいろな人の色々な意見が少しは見られたと思う 1年目でわからないことがまだ多いが、同じ立場の方々と意見交換して自信が付いた
前向きなイメージ	こういう機会がないとなんとなくポヤーとしがちないイメージなので、受講できて良かった これからはがんばろうと思うことができた 自分の考えではない相手の考え、将来を聞いて前向きになった 良い方向に進みたいと思った スゴロクとは違い将来はこれから決められるので、理想通りにいけるようにしたい たくさんの方に挑戦していきたい 頑張ろうと思った 本当になれたらいいな 時間というものは結構あっという間だなと思った この先何があるかわからないが、目標を見つけて頑張る これからイメージと現実のすりあわせができたと思った 現実をしっかり受け止めようと思った (スゴロクでは)理想の人生にならなかったが、楽しかった 本当になれたら楽
理想的キャリアの実現に向けて	モチベーションが下がっていた時もあったが、コミュニケーションを通じて新たに頑張っていこうという気になった 自分の人生を見つめ直すいい機会になった 同期の人たちと飲む機会がないのでありがたかった 今日学んだことを今後の仕事に活かしていきたい 同期がいない中、貴重な機会を与えていただき、ありがたい キャリアについて考える機会となり、ためになった 他社の方の話もいろいろと聞くことができた
ガス抜き	同じ境遇の同期がいることが、モチベーションにつながった 様々な現場の方とお話できて不安が解消された 同期と話すとよって同じ状況にいる人があると実感でき、やる気が少し出てきた 少し緊張したが、会社、現場に同期はいないので、近い年齢の人に会えて嬉しかった 社内に同期がいなかったので助かった 似たような職の人たちの話を聞くことができ、貴重な体験になった たまにはいいと思った
懇親会終了時 (同種感想除く)	モチベーションが下がっていた時もあったが、コミュニケーションを通じて新たに頑張っていこうという気になった 自分の人生を見つめ直すいい機会になった 同期の人たちと飲む機会がないのでありがたかった 今日学んだことを今後の仕事に活かしていきたい 同期がいない中、貴重な機会を与えていただき、ありがたい キャリアについて考える機会となり、ためになった 他社の方の話もいろいろと聞くことができた

「10年」「15年」「20年」

「25年」には必ず止まることをルールに、ワークとライフの両面からそれらに

「10年」「15年」「20年」

「25年」には必ず止まることをルールに、ワークとライフの両面からそれらに

故入江實副会長を偲ぶ  
都中建の元副会長入江實様は平成29年7月30日逝去されました。享年75才でした。  
入江様は、先代の興した東京機工土木株式会社を西多摩地域トップクラスの土木工事会社として育て上げ、青梅建設業協会会長、西多摩建設業協同組合理事長を経て都中建の副会長に就任され

幼稚園に絵本贈呈  
東京都中小建設業協会の3冊。  
読み聞かせや自らそれを手にする事で幼少期から建設の仕事への興味、関心を高めてもらい、将来の担い手確保に資するの目的で、各園に子どもたちの好きな「それらの3冊」を贈呈。昨年12月5日には、都中建の渡邊裕之副会長・広報委員長が世田谷区北沢の育成幼稚園(柏原寛昭園長)を訪れ、柏原園長に写真②に絵本を贈った。



幼稚園に絵本贈呈

読み聞かせや自らそれを手にする事で幼少期から建設の仕事への興味、関心を高めてもらい、将来の担い手確保に資するの目的で、各園に子どもたちの好きな「それらの3冊」を贈呈。昨年12月5日には、都中建の渡邊裕之副会長・広報委員長が世田谷区北沢の育成幼稚園(柏原寛昭園長)を訪れ、柏原園長に写真②に絵本を贈った。

読み聞かせや自らそれを手にする事で幼少期から建設の仕事への興味、関心を高めてもらい、将来の担い手確保に資するの目的で、各園に子どもたちの好きな「それらの3冊」を贈呈。昨年12月5日には、都中建の渡邊裕之副会長・広報委員長が世田谷区北沢の育成幼稚園(柏原寛昭園長)を訪れ、柏原園長に写真②に絵本を贈った。